

子ども・子育て支援対策調査特別委員会 報告資料

令和 7 年 1 0 月 1 5 日

報告事項件名	頁
1 足立区こども計画策定状況及び今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・	2
2 令和 7 年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業 （あだちワークわーく in Summer）の実施結果について・・・・・・・・・・	4

（ 政策経営部 ）

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年10月15日

件 名	足立区こども計画策定状況及び今後のスケジュールについて										
所管部課名	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課										
内 容	足立区こども計画審議会から答申が提出された。ついては、内容等に関して以下のとおり報告する。 1 足立区こども計画審議会答申について 令和7年9月4日付、足立区こども計画審議会からこども計画に関する答申を受領した。 (1) 答申の内容 別添資料「足立区こども計画について（答申）」参照 (2) 答申の主なポイント ア 子どもの貧困対策に重点を置いた計画とすべき イ 子ども・若者のウェルビーイング（※）を高めることが重要 ウ 子ども・若者の意見表明・参画機会を創出すること ※ 子どもや若者が心も体も健やかで、まわりの人とのつながりを感じながら、自分らしく幸せに生きていける状態 (3) こども計画の方向性 ア 基本理念 「生まれ育った環境に左右されない未来に向かって、子ども・若者のウェルビーイングをともに考え、ともに進むアダチをつくっていく」 イ 計画の柱 【柱1】すべての子ども・若者の生き抜く力を育む 【柱2】安心して子どもを産み育てられる環境を充実させる 【柱3】地域全体で子どもの成長を支える ウ こども計画において必要な視点 (ア) 子ども・若者等の「意見表明と参画機会の創出」 (イ) 必要な人に対する「伝わる情報発信」 (ウ) 多様なニーズや課題に応じた「切れ目ない支援」 2 こども計画策定までのスケジュール（予定） <table border="1"> <thead> <tr> <th>予定時期</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年12月</td><td>こども計画（素案）のパブリックコメント実施について子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告</td></tr> <tr> <td>令和7年12月中旬～令和8年1月中旬</td><td>パブリックコメント実施</td></tr> <tr> <td>令和8年1月</td><td>パブリックコメントの結果を子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告</td></tr> <tr> <td>令和8年3月</td><td>こども計画策定を子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告に報告</td></tr> </tbody> </table>	予定時期	内容	令和7年12月	こども計画（素案）のパブリックコメント実施について子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告	令和7年12月中旬～令和8年1月中旬	パブリックコメント実施	令和8年1月	パブリックコメントの結果を子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告	令和8年3月	こども計画策定を子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告に報告
予定時期	内容										
令和7年12月	こども計画（素案）のパブリックコメント実施について子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告										
令和7年12月中旬～令和8年1月中旬	パブリックコメント実施										
令和8年1月	パブリックコメントの結果を子ども・子育て支援対策調査特別委員会に報告										
令和8年3月	こども計画策定を子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告に報告										

	3 今後の方針 (1) 審議会での答申をもとに、庁内検討部会において、こども計画の内容に関して協議するとともに、策定作業に取り組んでいく。 (2) 足立区こども計画策定の進捗は、引き続き、子ども・子育て支援対策調査特別委員会において報告を行っていく。
--	---

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和7年10月15日

件名	令和7年度夏休み期間中における体験講座等の無料化事業（あだちワークわーく in Summer）の実施結果について																																		
所管部課名	あだち未来創造室 子どもの貧困対策・若年者支援課																																		
内容	「こどもまんなか社会」の実現に向け、未来を担うすべての子どもたちが、経験・体験を通して夢や希望を持てる契機となるよう、夏休み期間中において、一部の区有施設等の子どもの利用料等や体験講座等の無料化を実施した。実施状況について、以下のとおり報告する。 1 対象者 18歳までの子ども 2 区有施設等の無料化及び体験講座等の無料化の実施結果 利用者 72,810人（昨年度68,100人） 3 区有施設等の無料化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th><th>利用者内訳</th><th>利用者合計 (令和6年度実績値)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区立プール</td><td>高校生 705 人 中学生以下 24,027 人</td><td>24,732 人 (24,513 人)</td></tr> <tr> <td>総合スポーツセンター大・小体育室、地域体育館</td><td>高校生 786 人 中学生以下 2,672 人</td><td>3,458 人 (3,432 人)</td></tr> <tr> <td>ギャラクシティ・まるちたいけんドーム</td><td>高校生以下</td><td>9,277 人 (8,973 人)</td></tr> <tr> <td>生物園</td><td>高校生 546 人 小中学生 6,284 人</td><td>6,830 人 (6,999 人)</td></tr> <tr> <td>北鹿浜公園バッテリーカー</td><td>小学生</td><td>1,523 人</td></tr> <tr> <td>〃 ミニ列車</td><td>小中高生</td><td>(1,643 人)</td></tr> <tr> <td>大谷田南公園ミニ列車</td><td>小中高生</td><td>410 人 (195 人)</td></tr> <tr> <td>区内銭湯（23カ所）</td><td>中高生 14,486 人 小学生 7,327 人 未就学児 1,839 人</td><td>23,652 人 (20,485 人)</td></tr> <tr> <td>郷土博物館 新規 (※)</td><td>高校生</td><td>35 人</td></tr> <tr> <td></td><td>合計</td><td>69,917 人</td></tr> </tbody> </table> ※ 郷土博物館は令和7年度から無料化のため令和6年度の利用者数は無し		施設	利用者内訳	利用者合計 (令和6年度実績値)	区立プール	高校生 705 人 中学生以下 24,027 人	24,732 人 (24,513 人)	総合スポーツセンター大・小体育室、地域体育館	高校生 786 人 中学生以下 2,672 人	3,458 人 (3,432 人)	ギャラクシティ・まるちたいけんドーム	高校生以下	9,277 人 (8,973 人)	生物園	高校生 546 人 小中学生 6,284 人	6,830 人 (6,999 人)	北鹿浜公園バッテリーカー	小学生	1,523 人	〃 ミニ列車	小中高生	(1,643 人)	大谷田南公園ミニ列車	小中高生	410 人 (195 人)	区内銭湯（23カ所）	中高生 14,486 人 小学生 7,327 人 未就学児 1,839 人	23,652 人 (20,485 人)	郷土博物館 新規 (※)	高校生	35 人		合計	69,917 人
施設	利用者内訳	利用者合計 (令和6年度実績値)																																	
区立プール	高校生 705 人 中学生以下 24,027 人	24,732 人 (24,513 人)																																	
総合スポーツセンター大・小体育室、地域体育館	高校生 786 人 中学生以下 2,672 人	3,458 人 (3,432 人)																																	
ギャラクシティ・まるちたいけんドーム	高校生以下	9,277 人 (8,973 人)																																	
生物園	高校生 546 人 小中学生 6,284 人	6,830 人 (6,999 人)																																	
北鹿浜公園バッテリーカー	小学生	1,523 人																																	
〃 ミニ列車	小中高生	(1,643 人)																																	
大谷田南公園ミニ列車	小中高生	410 人 (195 人)																																	
区内銭湯（23カ所）	中高生 14,486 人 小学生 7,327 人 未就学児 1,839 人	23,652 人 (20,485 人)																																	
郷土博物館 新規 (※)	高校生	35 人																																	
	合計	69,917 人																																	

4 体験講座等の無料化

(1) 対象講座

102講座（令和6年度：81講座）

ア 将来の夢や仕事につながる講座

イ 夏休みの自由研究等に役立つ体験

※ 主に「夏休みものづくり体験」（産業振興課実施分）の20講座が増

(2) 実施場所

生涯学習センター、地域学習センター、ギャラクシティ、生物園、都市農業公園、花畑公園・桜花亭、愛恵まちづくり記念館、東京芸術センター、鹿浜いきいき館、各事業者の工場 など

(3) 利用者数

2,893人（令和6年度：1,860人）

5 利用者の声（各事業のアンケート結果から）

(1) 無料だからまた来たい。

(2) 新しい友達ができて嬉しかった。

(3) 虫が好きなので、生物園で働きたいと思った。

(4) コーヒーの作り方がよくわかり、家族に自慢したい。

(5) とても楽しかった。後ろの小さい女の子に教えてあげたのも楽しかった。

(6) 工場の方が見守ってくださり、自分のペースでやりきれたことが自信になった。

6 今後の方針

施設を管轄する担当課と事業実施における課題等を整理し、次年度以降に向けて実施方法等を検討する。